



# 大阪大学における研究支援・推進ネットワークとその展開

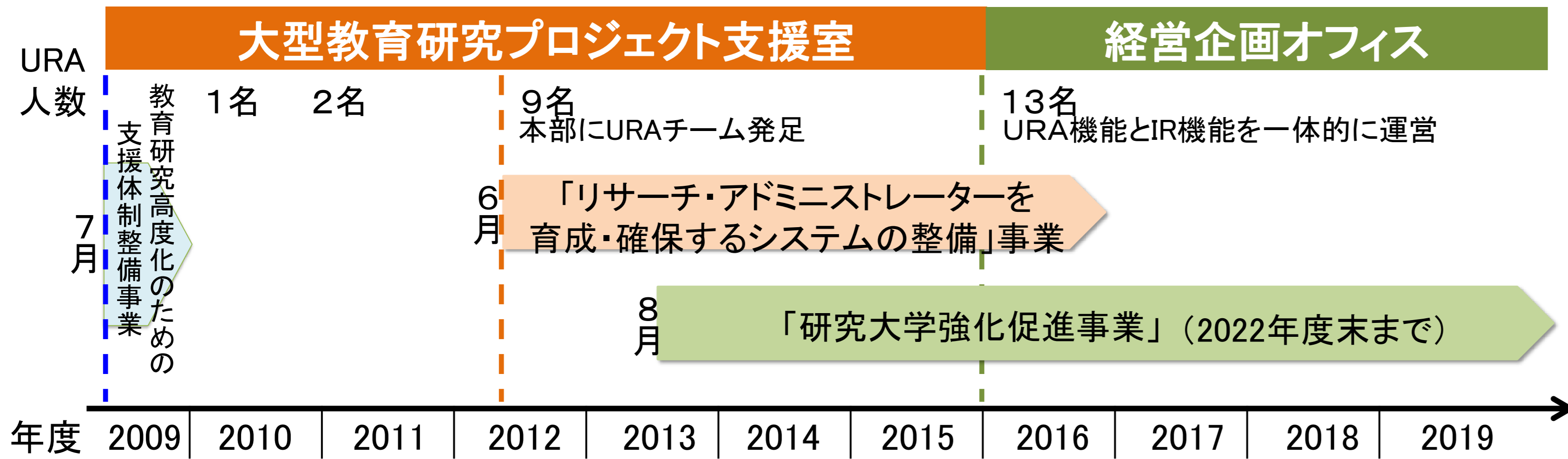


大阪大学経営企画オフィス研究支援部門

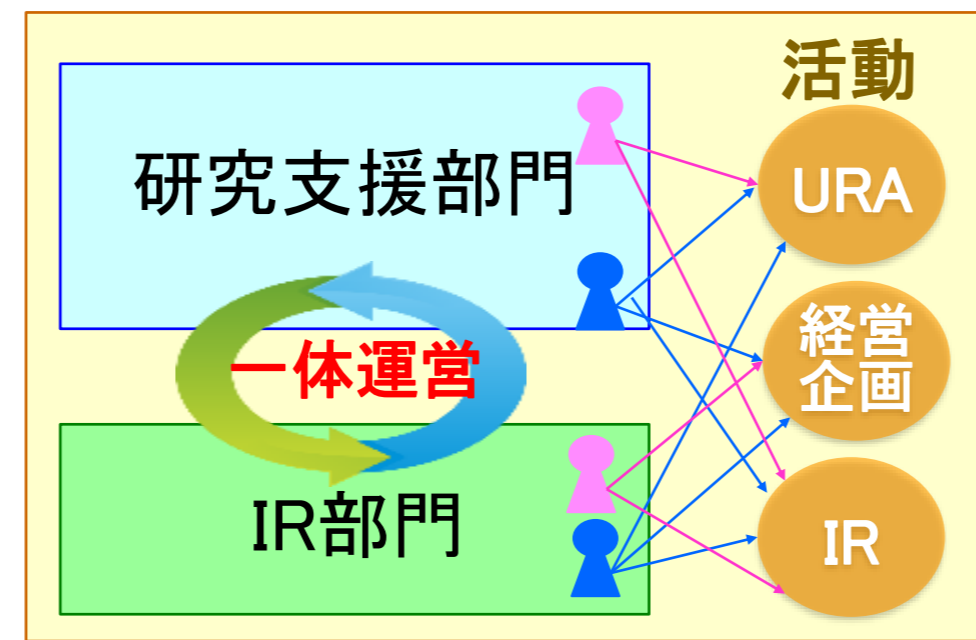
伊藤 京子、川人 よし恵、菊田 隆、高野 誠、森下 麻紗代(五十音順)

## 大阪大学におけるURAの確保・活用に関する経緯

### ●大阪大学におけるURAの歴史

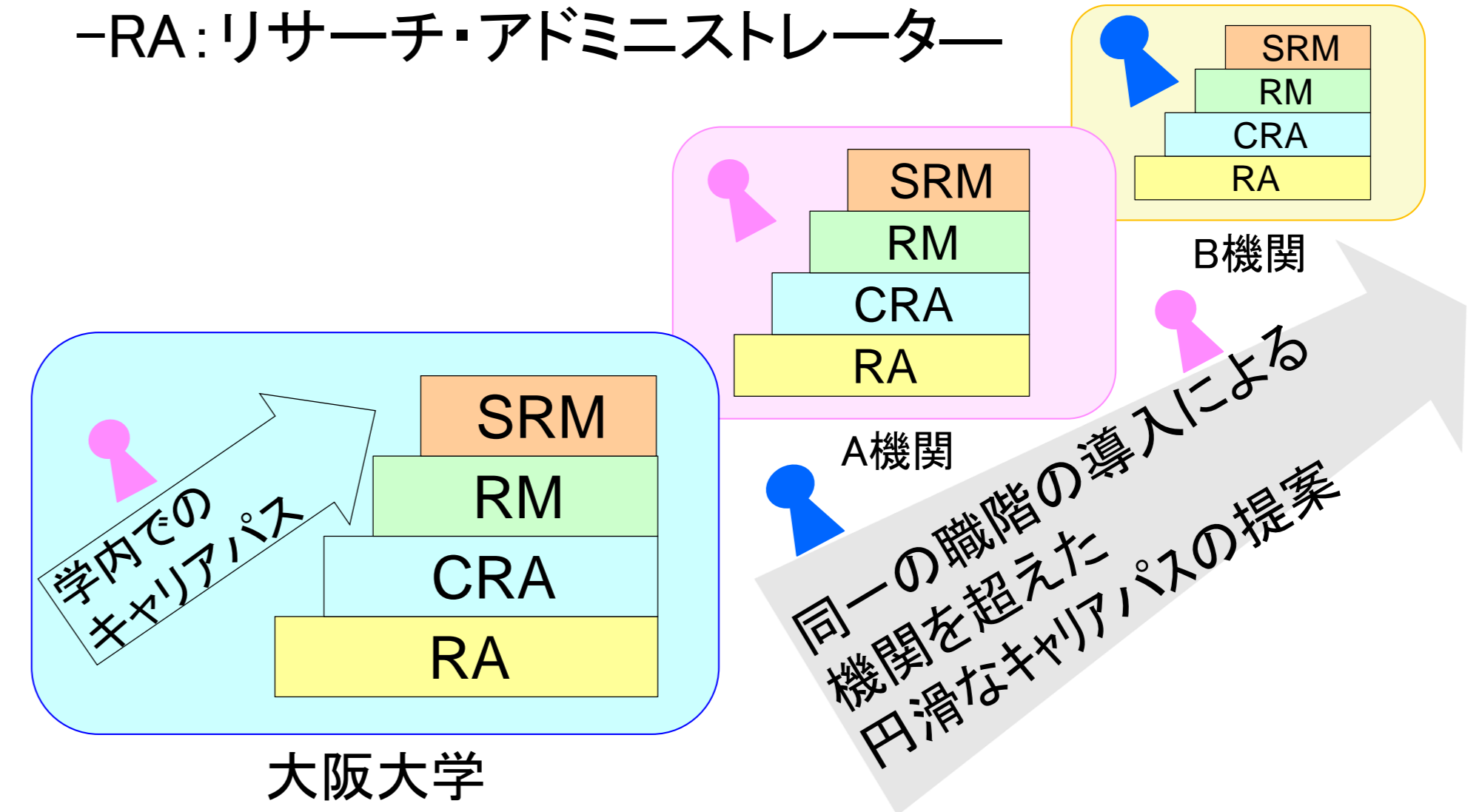


- 2012年度の「リサーチアドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業を契機に、本部の大型教育研究プロジェクト支援室内にURAチームが発足。
- 2017年度に、大型教育研究プロジェクト支援室を改組し、URA部門(現 研究支援部門)とIR部門等からなる経営企画オフィス(右図)へ移行。



### ●URAのための第3の職と4職階(呼称)の導入

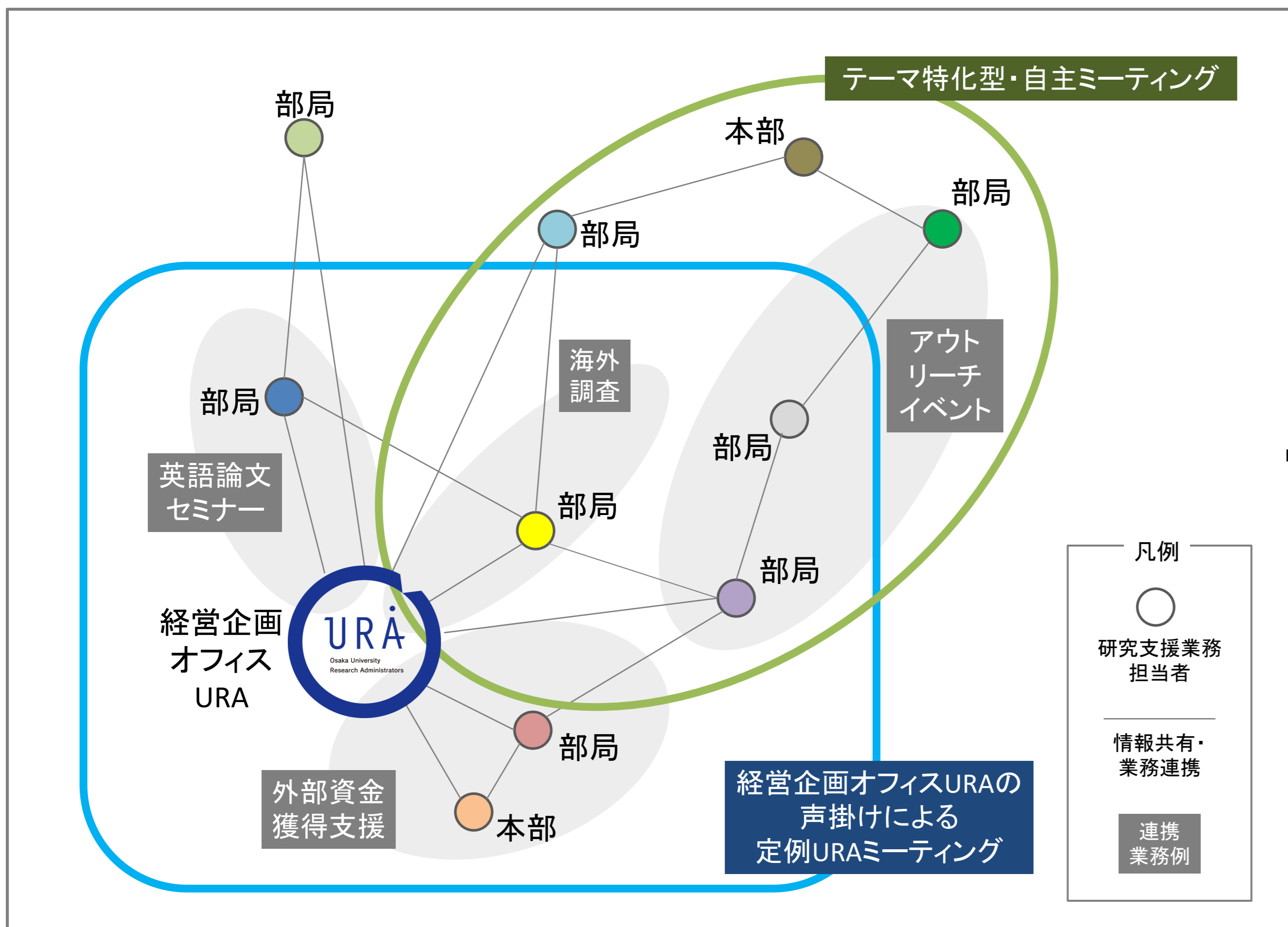
- 2012年度にURAのための第3の職「学術政策研究員」を導入
- 2018年度にURAの4職階(呼称)を導入し、本部・部局の研究支援・推進業務担当者に呼称を適用(現在53名に付与)
  - SRM: シニア・リサーチ・マネージャー
  - RM: リサーチ・マネージャー
  - CRA: チーフ・リサーチ・アドミニストレーター
  - RA: リサーチ・アドミニストレーター



## 大阪大学の研究支援・推進ネットワーク：担当者ベースのつながりと組織的つながりの2レイヤー

### [レイヤー1] 2012年度～

#### ●担当者間の情報共有・個別業務連携のネットワーク

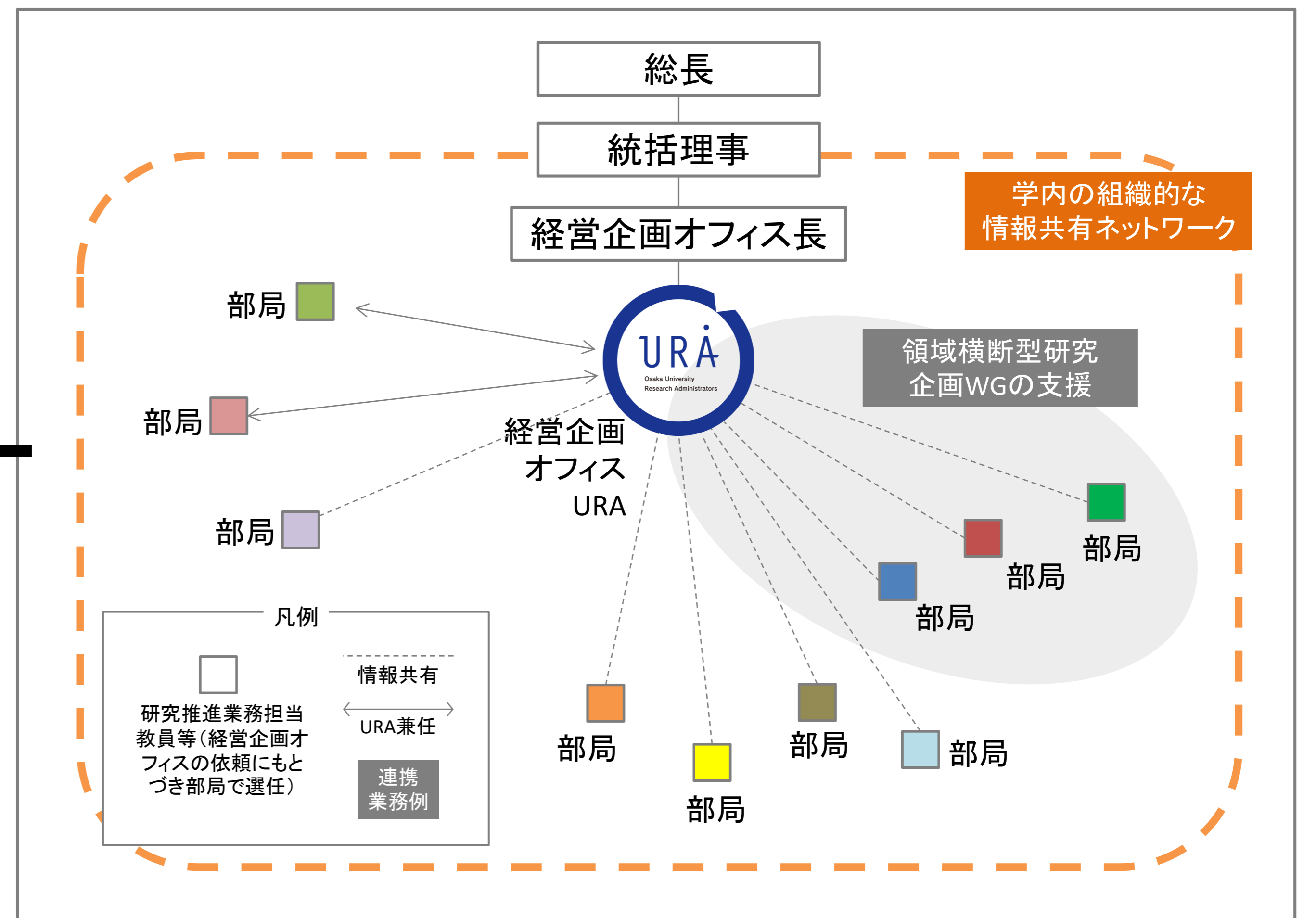


#### <主な活動例>

- 定例URAミーティング: 経営企画オフィスURA主導・隔週開催の情報共有の場、本部および部局から研究支援業務担当者約25名が参加
- テーマ特化型・自主ミーティング: 部局URA主導の自発的な勉強会・交流会
- テーマ別活動における協働: 外部資金獲得支援、研究成果発信支援等
- 研修プログラムの共有: 経営企画オフィスURAの新任研修プログラム等を部局研究支援業務担当者に提供、オンラインシステムを活用した動画教材共有

### [レイヤー2] 2018年度～(構築中)

#### ●本部URA組織と部局との組織的連携ネットワーク



#### <主な活動例>

- 研究推進関連情報の組織的共有: 経営企画オフィスURAと部局研究推進業務担当教員等の間で、メールまたは対面で実施
- 経営企画オフィスURAが部局等を兼任: 経営企画オフィスURAが両組織を兼任することにより、活動や情報の接続を促進
- 領域横断型研究企画WGの支援: 関係部局からの組織的な依頼により、経営企画オフィスURAが当該部局の研究推進人材と協力して、複数部局にまたがる大型の新規研究プロジェクトの企画・立案をサポート

## 課題と今後の展望

### 課題

- 情報共有・個別業務連携の更なる深化(レイヤー1)
  - 研究支援人材未配置部局を含めたネットワークの量的な拡大
  - 情報連携・好事例展開等ネットワークの質的な拡大
- 組織的連携ネットワークの早期構築完了(レイヤー2)
  - 研究推進担当教員等の配置部局の拡大
- 産学連携部門とのさらなる連携
  - 研究成果の社会実装→研究課題の発見→新たな研究成果の創出を繰り返す「研究開発エコシステムの構築」に向けた連携強化
- 研修体制・OJT体制およびプログラムの確立
  - 多様な分野や異なるバックグラウンドを持った人材による、安定した品質のサービス提供を可能に

### 今後の展望

- URAネットワークの力を組織の力に
    - 好事例および情報共有からの横展開、各種業務における協働作業のさらなる推進、産学連携部門や研究推進担当教員とURAとの連携強化
  - URA × IR
    - 現場の情報に通じたURAと書誌情報等の分析に通じたIRの「かけ算」による業務の相互深化
- 以上により大阪大学のURAは「研究開発エコシステムの構築」に貢献し、大阪大学の研究力強化に大きく貢献する